

## ○ 美幌小学校

- ・ 集計結果について
- ・ 保護者アンケートについて
- ・ 学校関係者評価について

## 平成29年度 美幌小学校 学校評価の結果と方向性

学校改善をねらいとして実施しました今年度の学校評価の結果と方向性について、保護者や地域の皆様に公表いたします。各資料に目を通していただき、ご意見やご感想等をお寄せいただければ幸いです。

次年度におきましても、本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

### 1. 集計結果を受けて（今後の方向性について）

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

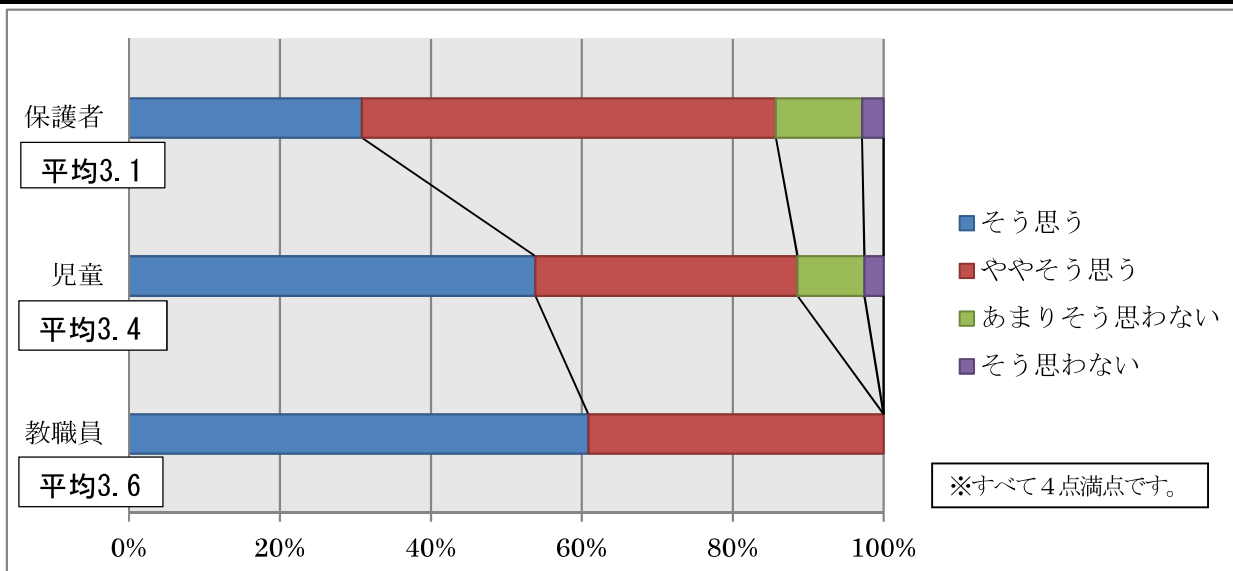
集計結果全般では《質問3》“友だちと仲良くすること”、《質問5》“めあてを持って取りくむこと”、《質問8》“宿題や家庭学習への取り組み”の評価が高く成果が表れている様子が見とれます。しかし《質問2》“あいさつにすること”、《質問4》“先生への相談”、《質問9》“読書習慣”には評価が低いものや、評価のばらつきがあり課題が見受けられます。以下には質問ごとに分析したものを載せてあります。

#### 《質問1》

【保護者への質問】 お子さんは、物事を最後までやりぬこうとしている。

【児童への質問】 物事を最後までやりぬこうとすることができますか。

【教職員への質問】 物事を最後までやり遂げるように指導していた。



#### 《質問1》について“やりとげる力”

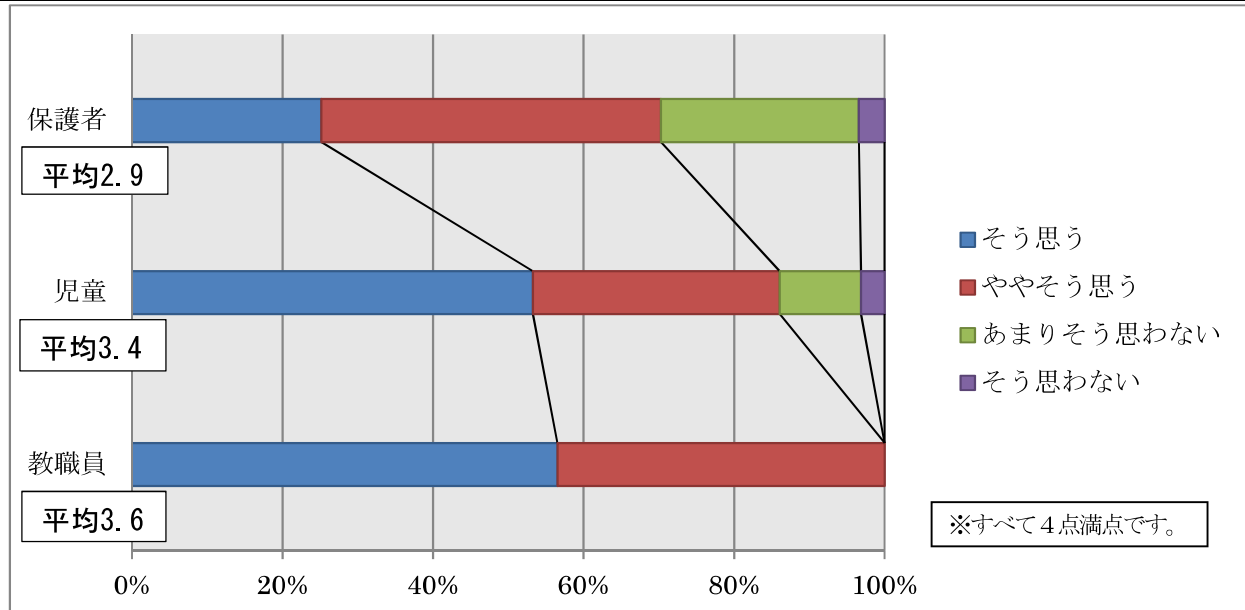
教職員は意識して指導しており、児童への指導に対して成果があがっているが、浸透しきれていない状況が読み取れます。また保護者との連携にも課題が見られます。今後、児童が粘り強く取り組む姿勢を学校生活全般で意識させる指導を工夫するとともに、家庭との連携を深めるように取りくんでいきます。

### 《質問2》

【保護者への質問】 お子さんは、いつでもだれとでもあいさつができる。

【児童への質問】 いつでも、だれとでも、あいさつができますか。

【教職員への質問】 誰に対しても、あいさつができるように指導していた。



### 《質問2》について“あいさつ”

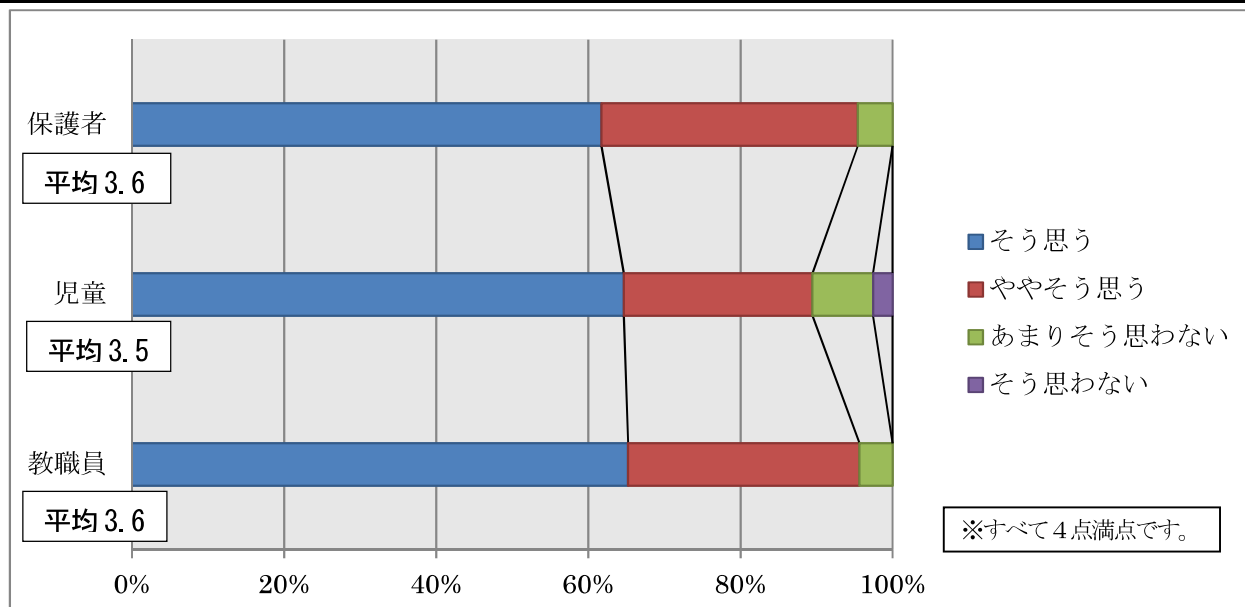
教職員は意識して指導しており、児童への指導に対して成果があがっているが、浸透しきれていない状況が読み取れます。また保護者との連携にも課題が見られます。今後、あいさつを教職員自ら率先して取り組み、児童があいさつする大切さ習慣が身に付くように取りくんでいきます。

### 《質問3》

【保護者への質問】 お子さんは、友だちとなかよくしたり、協力したりして学校生活を送っている。

【児童への質問】 友だちとなかよくしたり、協力したりすることができますか。

【教職員への質問】 友だちとなかよくしたり、協力したりして学校生活を送るように指導していた。



### 《質問3》について“友だちと仲良くすること”

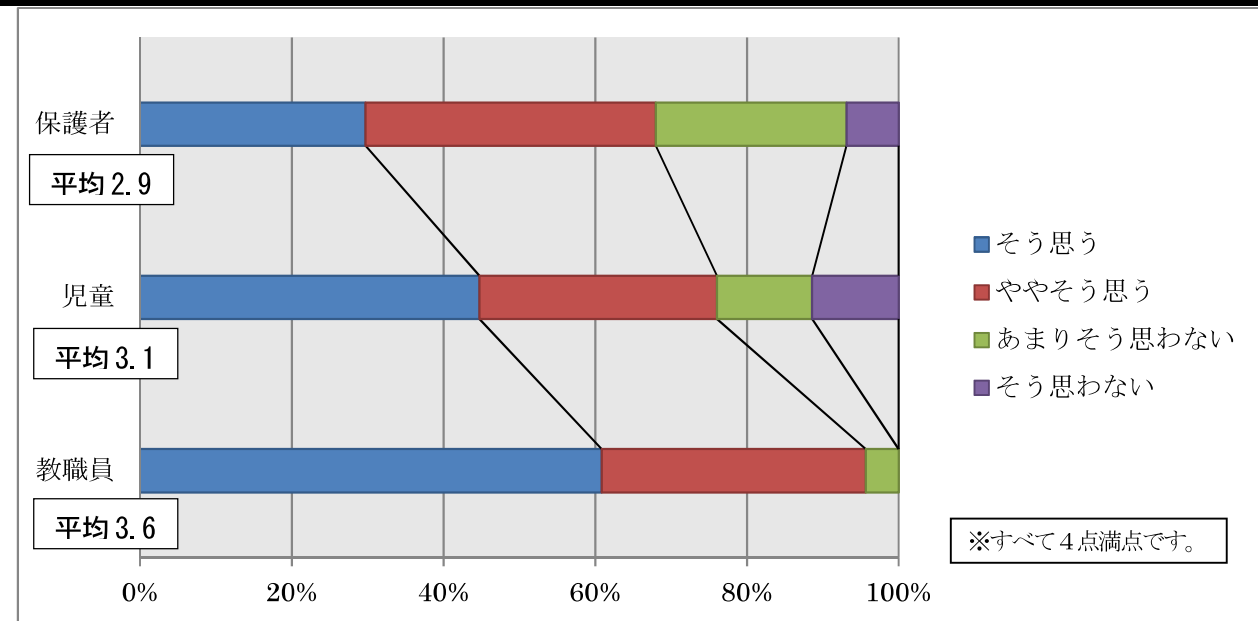
教職員、児童、保護者ともに評価が高くなっています。普段の学校生活、家庭での指導など友達と仲良くする、協力して取り組むことの大切さが定着してきている様子が見とれます。今後も、継続してより良い人間関係の構築に努めていきます。

《質問4》

【保護者への質問】 お子さんは、困ったときに先生に相談することができる。

【児童への質問】 困ったときに、先生に相談することができますか。

【教職員への質問】 児童が困ったときに相談するように努めていた。



《質問4》について “先生への相談”

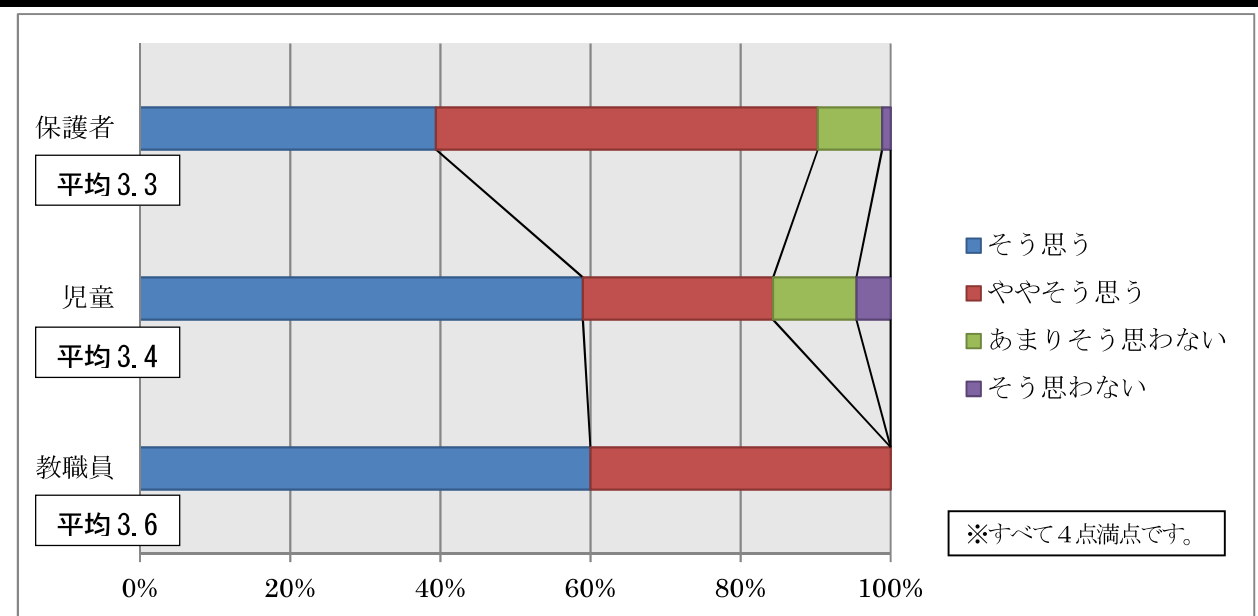
教職員は相談しやすい環境を作ろうとしているが、児童によっては相談しにくい状況が読み取れます。また保護者の認識も児童と同じ状況がわかります。今後、日常から児童と向き合い、より良い人間関係を構築し「信頼できる」「頼れる」教員となるべく、努力するよう取り組んでいきます。

《質問5》

【保護者への質問】 お子さんは、授業や行事で、めあてをもってがんばることができる。

【児童への質問】 授業や行事では、めあてをもってがんばることができますか。

【教職員への質問】 授業や行事で、めあてを示し、がんばるように指導していた。



《質問5》について “めあてを持って取り組むこと”

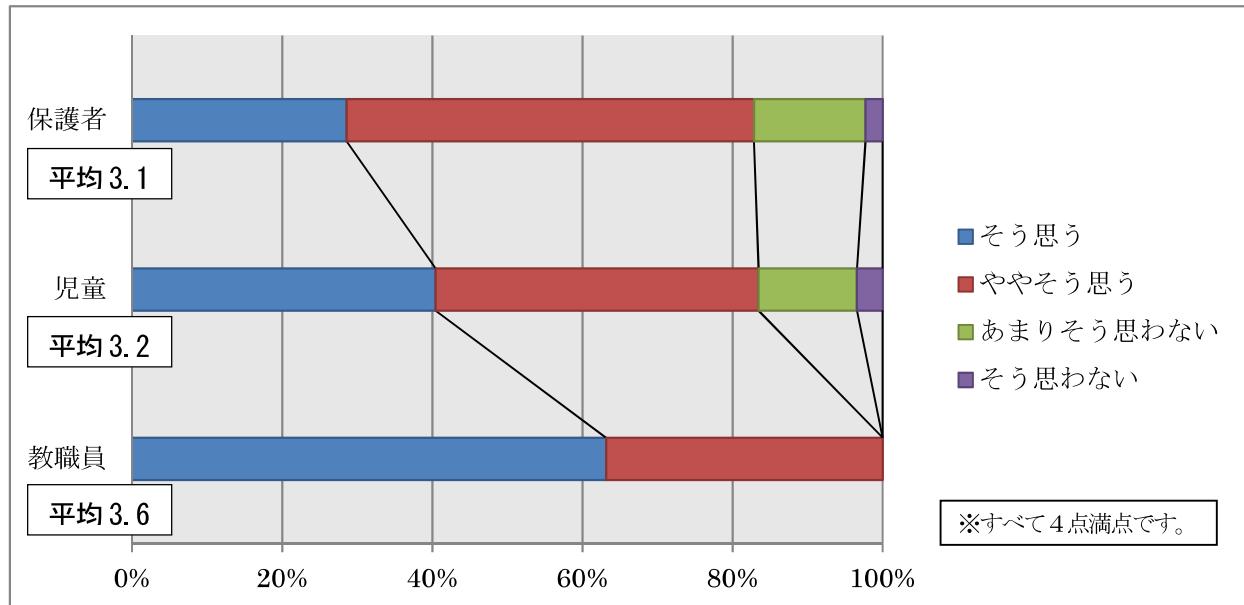
教職員、児童、保護者ともに良い評価が出ています。授業や行事で‘めあて’を持たせるように指導し、児童に定着してきていることが読み取れます。今後も、‘めあて’や‘ねらい’を常に意識させながら、目的意識を持たせて教育活動に取り組んでいきます。

《質問6》

【保護者への質問】 お子さんは、学校の授業での学習内容を理解している。

【児童への質問】 授業に集中して取り組み、学習内容がわかりますか。

【教職員への質問】 児童が授業での学習内容が理解できるように指導していた。



《質問6》について“授業理解”

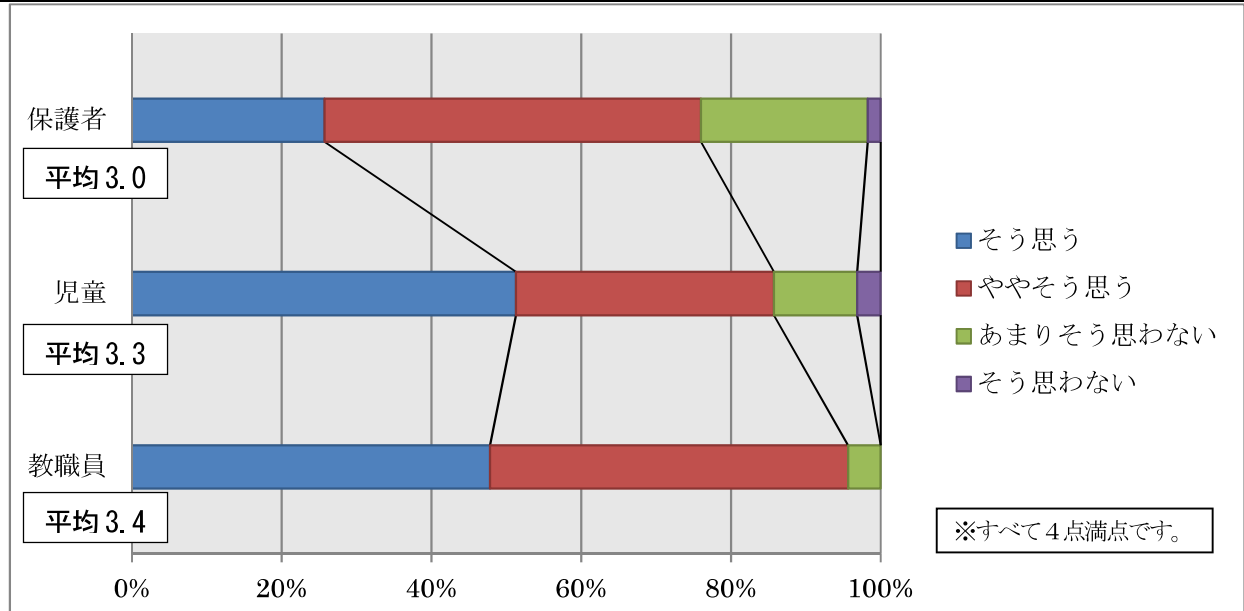
教職員は意識して授業準備をして授業に臨んでいるが、学習内容がわからない児童もいることが読み取れます。今までも取り組んできましたが、今後も児童の実態に合わせ、より効果的な指導方法の工夫改善を研究し、授業改善を図っていきます。

《質問7》

【保護者への質問】 お子さんは、自分で考え行動することができる。

【児童への質問】 自分で考え、行動することができますか。

【教職員への質問】 児童が自分で考え行動することができるように指導していた。

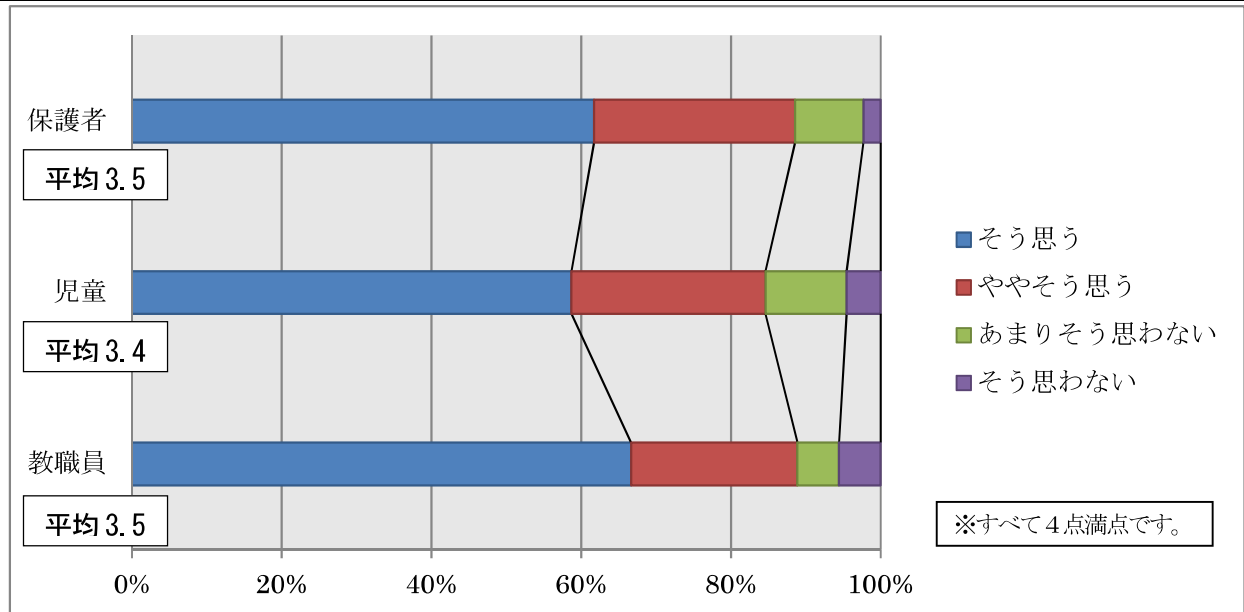


《質問7》について“考えて行動すること”

保護者の評価と若干差がありますが、教職員、児童ともに一定の成果が出ていることが読み取れます。自分で考え行動する力は、自立するために必要な力です。今後も学校生活の中で、考えて行動する機会を設け、指導していきます。

### 《質問8》

- 【保護者への質問】 お子さんは、毎日、宿題や家庭学習を行っている。  
 【児童への質問】 毎日、宿題や家庭学習をやっていますか。  
 【教職員への質問】 毎日、宿題や家庭学習を行うように指導していた。

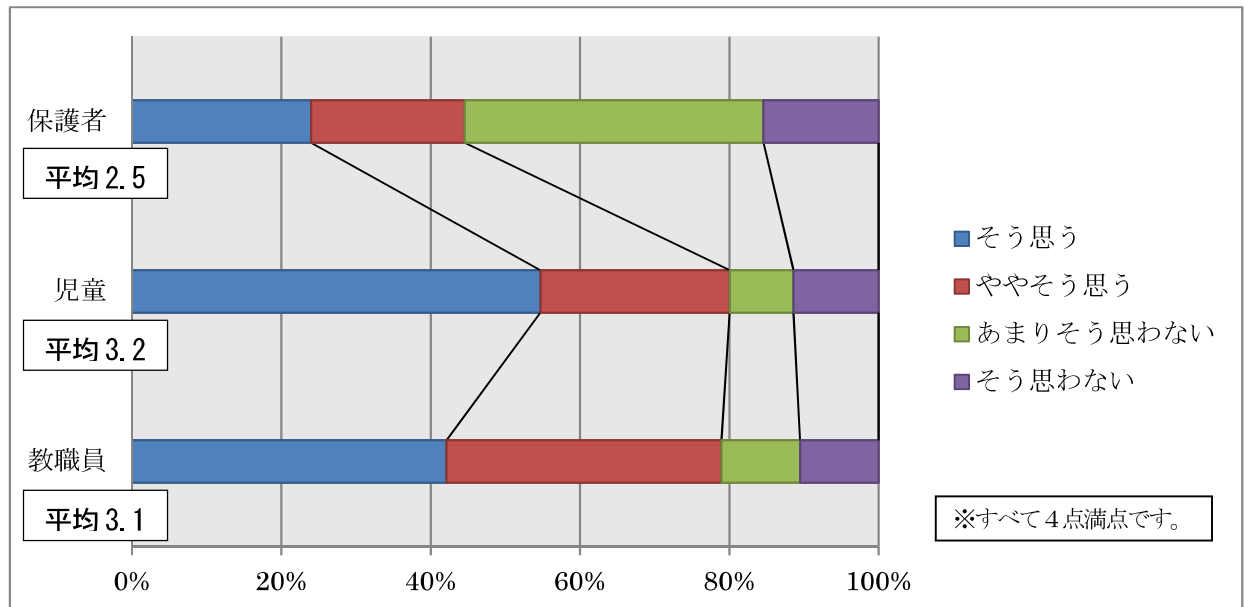


### 《質問8》について“宿題や家庭学習への取り組み”

教職員、児童、保護者ともに良い評価が出ています。今後も継続して、宿題を課題として出すとともに、家庭学習の習慣が身に付くように指導していきますので、ご家庭でも、ご指導のほど、よろしくお願いします。

### 《質問9》

- 【保護者への質問】 お子さんは、進んで読書をする習慣が身に付いている。  
 【児童への質問】 学校や家で、進んで本を読むことができますか。  
 【教職員への質問】 進んで読書するように指導していた。



### 《質問9》について“読書習慣”

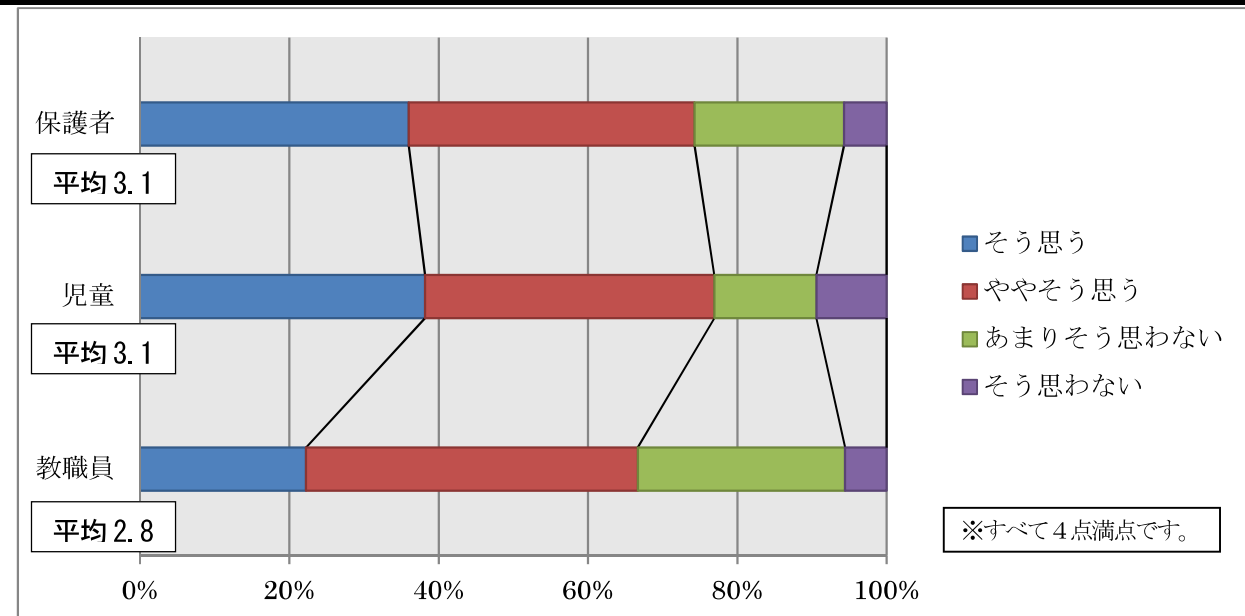
学校で朝読書など読書習慣が身に付くように指導を行っているが、読書をする習慣が浸透していない状況が読み取れます。読書は‘語彙力が身に付く’‘文章を書く力が身に付く’‘コミュニケーション力’が高まるなど様々な効果が考えられます。今後も読書の楽しさを伝え、読書習慣が身に付くように指導していきます。

# 《質問10》

【保護者への質問】 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活に気をつけている。

【児童への質問】 早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活に気をつけていますか。

【教職員への質問】 早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送るように指導していた。



## 《質問10》について‘望ましい生活習慣’

教職員の評価が若干低いですが、児童・保護者は規則正しい生活習慣を一定程度意識していることが見とれます。規則正しい生活習慣は、学校生活だけでなく、日常すべての活動が意欲的に取り組むための基盤となるものです。今後は、学校も意識を高め、児童への働きかけを充実させていきます。

## 2. 保護者のご意見から

アンケートでいただいたご質問やご意見のいくつかに対しまして、学校としての回答をお伝えします。内容や趣旨が類似しているものにつきましては、まとめて回答いたします。

①担任1名あたり20名程度にした方が良いのではないのでしょうか。他の小学校と比べ不安なことにならないようにしてほしい。

【回答】現在、1学級の定員は40人と決められています。（1年生のみ1学級35人）また美幌町では独自に1学級の人数が35名を超えるときは教員を配置しています。したがって学年の人数によって1学級あたりの人数は20名～35名となります。人数が多いときには、児童の様子を複数の教職員で見とれるように配慮をし、不安をなくようにしていきたいと思います。

②学校を訪れた時、外で出会った時、子供たちから挨拶をされることがほとんどなく、いつも寂しい気持ちになります。家庭でももちろんですが、先生方もお手本となって明るく元気な声を響かせてほしいです。

※他にあいさつやマナーに関する意見が複数ありました。

【回答】あいさつはよりよい人間関係を築く上でとても大切なことです。児童への指導はもちろん、教職員からも元気なあいさつをするように努めていきます。また、言葉遣いなどマナーの向上や知らない人についていけないことと誰にでもあいさつする区別の伝えるのが難しいと感じるというご意見もありました。学校でも指導に努めてまいりますが、ご家庭でもご指導のほどよろしくお願いします。

③運動会が土曜日になったのに、学芸会は日曜日だったので、統一しても良いのでは？

※他に同様の意見複数ありました。

【回答】運動会同様、学芸会も土曜日開催をすることは現在考えていません。指導の連続性の観点から、土曜日に開催する利点はありますが、学芸会は雨天で順延することが想定していないため、日曜日に開催し、より多く

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>の保護者に観覧していただきたいと考えています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>④学芸会の登校時間をもう少し早く教えて頂きたいのと、学校内（玄関ホール）に張り出していた演目・時間の予定表を児童（各家庭）に配布してほしかったです。</p> <p>【回答】学芸会の演目時間が最終的に確定するのは、総練習のあとになります。実際に本番同様に演目を行い、入れ替え時間も含めて当日のスケジュールを最終的に確定させています。おおよその時間についてはできる限り早めにお伝えできるように努めてまいります。</p>                                                                                                                                                                                           |
| <p>⑤PTA懇親会はなぜジンギスカン1回になったのか？今年は田村に参加したいと思っていたのに・・・残念です。「先生と子どもの信頼関係がなさすぎる。」「先入観を持って子どもに接する先生が多い。」（中略）“先生がいやだ”と泣いているお子さんもたくさんいます。（中略）ここ数年は「安心して子どもを預け、まかせる」ことが正直できません。</p> <p>※他に「子どもの話を聞いてほしい」「学校全体で問題や学力面など、もう少しきちんと話し合ってほしい」など意見がありました。</p> <p>【回答】教職員と児童が日々の学校生活の中で、信頼関係を築くことが教育活動の根幹になることは言うまでもありません。しかしながら、信頼関係が築けない現状が中にはあることも事実です。学校として、1人1人の教員が子どもと向き合い、指導するように研修を重ね指導していきますので、ご理解のほどよろしくお願いします。</p> |
| <p>⑥子どもが2人いるので○を2つ付けた回答もありますが、どう回答したらいいのか困りました。</p> <p>※他に「学年ごとにアンケートを実施するのはどうでしょうか？」など意見がありました。</p> <p>【回答】現在、学校評価は各家庭ごとに回答していただいております。複数のお子さんが在籍している場合、お子さんによって、回答内容が変わることも事実です。次年度の学校評価につきましては、お子さんごとに回答していただく形または、お子さんごとに回答がかける形にするように検討していきます。</p>                                                                                                                                                      |
| <p>⑦子どもたちの普段の様子がもっと伝わるよう、学級通信などで写真などをたくさん載せてほしい。</p> <p>※他に「先生によって学級通信に差がある」「月1回でも学級通信を発行してほしい。」など学級通信に関する意見がありました。</p> <p>【回答】学級通信は学級の様子をご家庭に伝える大切なものです。学校での子ども様子を伝えることはもちろん、学級の課題や担任の方針などご家庭に伝え、児童の教育にご支援をいただくためのものでもあります。学級通信の役割を改めて考え、ご家庭との大切なパイプとなるようにしていきます。</p>                                                                                                                                       |
| <p>⑧いつも児童の指導・教育ありがとうございます。参観日等で先生に話を聞くとわかることなのですが、こんなことがあった・あんなこともあったということ、その時点で知っていれば、家庭でも子供にすぐに対応できるなと思います。きっと重大なことは連絡がいつていると思われそうですが、小さいことでも知りたいと思いました。</p> <p>※他に「先生との話をする時間が足りないと思います。」「参観日やレクに来ているのだから、懇談会にも出席してほしいと、学校側から案内してほしい」など意見がありました。</p> <p>【回答】ご家庭へ情報をお伝えする手段として学校だより・学年通信・学級通信等ありますが、保護者と直接顔を合わせて話をするのも大切なことと思います。参観日後の懇談会は直接話をする機会となりますが、必要があれば、保護者と話をする場を設けたいと考えています。</p>                 |
| <p>⑨校門をなくすか、腰あたりまで低くするか、登下校時に車が通れないようにするか、校門に人を立たせ児童の命を守るべきでは。</p> <p>【回答】登下校時の児童の安全確保は必ずしなければなりません。登下校のルール徹底を児童に行っていますが、ご家庭でもご指導していただきますようお願いいたします。また4月当初、降雪時期になりましたら、駐車場乗り入れのルール等につきまして文書でご連絡していますので、ご確認していただき、安全確保のためにご協力を</p>                                                                                                                                                                            |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>⑩集団下校も一度だけではなく、各学期に1回は集まってみたり、行動したりしたら良いと感じます。</p> <p>【回答】集団下校訓練は例年6月に行っています。しかし、時間が経つと下校方法や班編成を忘れることも多いかと思います。次年度は集団下校を行う可能性の高い3学期の始めにも班の確認を行いたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>⑪土曜日授業をしてほしい。</p> <p>【回答】土曜日授業については、各市町村で取り決めて実施していますので、美幌小学校独自で行うことはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>⑫ことばの教室について以前から疑問を感じています。美小の児童は授業を抜けて行きます。他校の児童は放課後です。放課後なら授業が遅れる事はないと思います。先生によっては、抜けて行った授業の分を放課後やプリントで行ってくれる場合がありますが、ごくまれです。(中略) ことばの教室の時間帯について見直しをお願いします。</p> <p>【回答】現在ことばの教室には町内外より70名以上の児童が通っており、指導可能な時間に余裕がありません。他校の児童の中にも、1時間目のことばの授業を受けて自校に戻ったり、5・6時間目の授業を抜けて通って来ている児童も多くいます。ことばの時間は自立活動の授業を受けているということでご理解下さい。</p> <p>また、授業についてですが、特別教室の使用割りに配慮したり、担任の先生と相談してクラスの授業を優先したりして、なるべく支障のないように配慮しております。年度当初、各担任に抜けた分の授業のフォローをお願いしています。今後も、フォローするよう声かけをしていきます。</p> |
| <p>⑬いじめをなくして下さい。</p> <p>【回答】いじめが許されないことは言うまでもありません。学校でもいじめ問題に対し、方針を立て日常から観察・指導を行うとともに、年2回のアンケート調査を行っています。しかしながら、軽微なものも含めて、いじめが起きてしまうことも事実です。これからも継続して、未然防止・早期対応に努めてまいります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>⑭宿題、家庭学習は自由にしてほしい。</p> <p>【回答】子どもの学力向上には、授業を充実させることはもちろんですが、宿題や家庭学習を継続的に行うことが必要です。そのため、各担任は宿題や家庭学習の課題を与えていますので、ご理解のほど、よろしくお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>⑮言葉遣いの悪い先生がいると子どもから聞きます。家庭での言葉遣いもそうですが、先生方の使っている言葉は子どもたちもすぐに真似してしまうと思うので、あまりにもひどい言い方はやめてほしいです。</p> <p>※他に「教育者として不適切な言葉を使われている方がいます。例え、私用であっても子どもに見せられない言葉は使用しないで頂きたいと思います。」という意見がありました。</p> <p>【回答】子どもの前で、手本となるべき教員が不適切な言葉を使うことはあってはなりません。言葉遣いに注意して、改めるようにしてまいります。</p>                                                                                                                                                                                             |
| <p>⑯B日課の短縮する部分を変更できないでしょうか？10分休みが5分休みになってしまうと時間が短すぎて用意やお手洗いが間に合わない子どもが話しています。もし可能であれば、お昼休みを短縮するほうが、子ども達にとっていいと思います。</p> <p>【回答】日課については、毎年検討し見直しています。休み時間の時間帯や授業時間、給食時間など全体を考え、決定しています。次年度は日課を見直し、授業の合間の休み時間（1～2校時間、3～4校時間、5～6校時間）が5分間となりますが、子どもの授業準備の時間やお手洗いの時間の確保はきちんと配慮するようにします。</p>                                                                                                                                                                                |

⑰毎年記入させて頂いておりますが、今年も書きます。冬の体育授業をスキーかスケートのどちらかにして下さい。負担が大きいです。どうしても継続するのであれば、道具を揃えて下さい。

※他に「冬のスキー、スケート両方の準備が本当に負担です。」「ボード可はいかがでしょうか。」「スキーとスケートをひと冬で学習するのを考えてほしい。」「どちらかにしてほしい。」「スケートは廃止にしてほしい。」など複数の意見がありました。

【回答】この件については、毎年頂いているご意見でございます。冬のスポーツに親しむことが主な理由です。また、スケート授業、スキー授業につきましては、協会のご協力のもと外部講師を派遣していただき、指導体制も充実しており、技術の向上も図られています。授業を通して、少しでも多くの子ども達に冬のスポーツに親しんでもらい体力向上につながればと考えています。一方で「費用の負担が大きいですので、どちらかにしてほしい。」というご意見も頂いております。体文主催のスキー・スケートリサイクルはありますが、学校として、冬季スポーツのあり方について、次年度、学校内で検討していき、年度末には保護者に美幌小学校としての方向性を示したいと思っております。

その他に、学校や教員への励ましのお言葉もいただきました。保護者の言葉を真摯に受けとめ、学校改善の一助となるようにしたいと思いますので、ご支援をよろしくお願いします。

### 3. 学校関係者評価から

校長が行う学校運営に関して幅広く意見を聞き、必要に応じて助言を求めるため地域の有識者の方々に「学校評議員」をお願いしています。地域の方が学校運営に参画し、「開かれた学校」を推進するためにも有益なことです。

平成30年3月8日に「第3回学校評議員会」が行われ、学校評議員の方々に学校評価を報告しました。その際お聞きした様々な意見をご紹介します。

○スキー・スケート授業については、費用負担の面を考慮しながらも、学校でしっかり考え方向性について決めていくのがいいと思う。冬季スポーツの裾野が広がるきっかけになればいいと思う。

○いじめについては積極的に認知し、きちんと対応していくことが大切である。小さいことを見逃さないで、人権意識を大切に育てていくことやってほしい。

○不登校の対応については、行政との連携、各関係機関との連携が大切である。学校だけがかかえず、相談体制を整えていってほしい。

○読書をする機会はとても大切であり、朝読書の取組は今後も続けていってほしい。今はスマートフォンなど子どもにとって、本を手取るよりも魅力的なものが世の中にあふれているが、語彙力の向上、思考力も育つので、読書活動を推進してほしい。